

康富記

寶德三年
亨德四年

十月
十一月
十二月
正月

14
2478
3(20)



門 14
2478
卷 3(20)

十六卷
宝德三年 十月二十月十二月

享德四年 正月
三條殿看公讀書十七事 人

一室町殿、系賀之事 一院所讀書之事 并雲客木

一秋作法又雅談等之事

一元興寺燒亡之事 一万里小路殿青侍之事

一三條殿御月次和歌之事 一南都元興寺大業院燒亡之事

一室町殿御修法之事 一仙洞親王御讀書之事

一茅屋大破、故禁裏歎狀 一三條殿御讀書之事

一花山院殿御讀書之事 一仙洞御讀書之事

一業忠消息 一清和天皇系系雜談等之事



山三
心海

一平座

一三条殿若公讀書之事

一室町殿、系賀之事

一欵作法又雅談等之事

一元興寺燒亡之事

一三条殿御月次和歌之事

一室町殿御修法之事

一茅屋大破、故禁裏欵狀

一花山院殿御讀書之事

一業忠消息

一内野千部經

一坊城殿元日彈正尹不審之事

一院所以讀書之事、并雲客木

一万里小路殿青侍之事

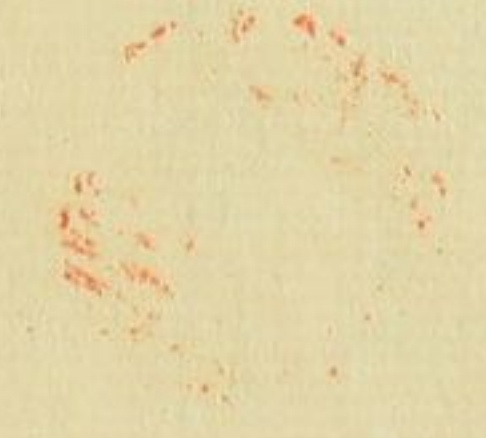
一南都元興寺大業院燒亡之事

一仙洞親王御讀書之事

一三条殿御讀書之事

一仙洞御讀書之事

一清菴友、系賀雜談等之事



一室町殿字向不^徒移^一更 一給事中^大故領加^一別^一

一飛鳥升^一及^一月^一次 一李^一神^一以^一色^一成^一之^一

一夏^一澤^一朝^一冷 并大炊^一以^一門^一又^一三^一条^一西^一之^一
以^一談^一虫^一梅^一云^一之^一紫^一水^一之^一

一二条殿後福照院及御七年忌^一之^一更

一糸^一表^一出^一及^一之^一更 一宇^一治^一集^一人^一司^一領^一之^一更

一伊^一勢^一外^一云^一之^一可^一有^一行^一事^一未^一之^一更

一枕^一窮^一困^一自^一武^一家^一沖^一訪^一二^一被^一下^一之^一更 付自^一万^一里^一小^一路^一之^一伊^一勢^一中^一也^一

備^一息^一未^一之^一更 一三^一条^一殿^一若^一云^一讀^一書^一之^一更

一自^一在^一田^一及^一之^一出^一切^一利^一自^一仙^一洞^一被^一申^一出^一之^一更 日^一請^一取^一

一新^一嘗^一祭^一 一平^一井^一祭^一日^一吉^一田^一祭^一延^一引^一之^一更

一山^一門^一訴^一訟^一之^一事 一礼^一山^一院^一八^一幡^一沖^一祭^一向^一之^一更

一外^一宮^一假^一及^一料^一足^一百^一貫^一行^一之^一更 一放^一生^一會^一支^一配^一之^一更

一三^一親^一町^一殿^一存^一領^一着^一陣^一申^一文^一陣^一之^一更 并^一扈^一從^一之^一人^一未^一之^一更

一室^一町^一及^一穢^一之^一事 一自^一房^一務^一外^一史^一之^一事^一与^一奪^一之^一更

一依^一木^一加^一着^一服^一之^一事 又^一三^一条^一殿^一不^一領^一未^一之^一更

一園^一鐸^一神^一祭^一之^一更 一向^一殿^一朝^一飯^一相^一伴^一未^一之^一更 并^一三^一条^一殿^一

一讀^一書^一 一鎮^一魂^一祭^一

中院^一位^一通^一海^一印^一進^一大^一官^一之^一事 一三^一親^一町^一大^一納^一言^一及^一宣^一言^一到^一來^一之^一更 并^一福^一物^一未^一宣^一言^一於^一祭^一日^一案^一未^一相^一

一枕^一在^一之^一更 一新^一嘗^一祭^一之^一更 并^一次^一弟^一

一平^一座^一 一豐^一明^一平^一座^一祭^一陣^一之^一更

一春日祭可参々々々
一南都奉行上洛々々

一左史高橋元服々々
一於伏見後讀美々々

一春日祭外記史社家申分々々
一吉田祭平社祭亦々々

一春日祭同次第亦
一吉田祭同次第亦

一三条及若公山讀云々々
一請父宣名酒事案亦

一豊明平座
一請父并宣名書折左實亦

一春日祭見系案并内侍不
系子細
一春日祭外記史勸孟也友

一侍奏事云々々
一春日祭下社社宣名并文案亦

一月次神今食々々
一大原神祭

一南門未開上日吉神樂々々
一神今食卜形々々
一康富

状之事又手松中初状之夏又康富状之事

一平社祭
一政代三戸并行向々

一三条及讀書々々
一大原神祭

一集人領丹波々々
一月公方御下知々々

一外宮通用且下行支配々々
一月社亦在々

一業忠消息
一神今食延引々々

一月月次神今食延引此状在
月劫別々々

一同祭系陣亦々々
一神今食亦々々

一丹羽上洛々々
一云方御用出訪且干也案亦

一三条及木給々々
一鳥丸及元服々々

一室町及(歲末)出礼之事 一扇務(歲末)礼之事

一長檜及(出房)沙行法(出度)日法(出)茶末

一清(初)度(茶末) 一(茶末)礼(清)不(日)武家

御訪() 一(平)丸(去)日(祭)延()

一(正月)二(日)夜(上)御(解)之事 一(茶)後(下)事 叙(位)之(後)作()

一(日)次(糸)西(度)白(袖)下(事) 日(加)比(倫)前(入)乃(符)之(日)糸

一(院)御(所)之(度) 日(王)氏(出)并(式)者(帶)文(酒)之(身)交

一(叙)位()之() 并(次)第(言)文(入)眼(次)第(為)小(折)紙(茶)末(文)下(文)

一(茶)等(方)之(也) 一(園)東(落)脚(到)來()

一(白)馬(夜)會() 一(室)町(及)姓(君)比(誕)生()

一(室)町(及)希(察)之() 一(糸)御(室)之()

一(殿)下(出)符(察)并(陣)後(書) 一(糸)殿(下)之()

一(石)清(水)之() 一(正)親(町)長(與)出()之(事)

(Faint bleed-through text from the reverse side of the page)

九日神晴

甲且乘三乘西復若之欲有讀書之處不長殿後云今去東及
遣定所中館房之法安樂集而聽之也其後之乃即
乘上於此抄以堂在之在乘集上卷今日始有後味後
中初及後後升少初及未有出聽少平後此抄以堂之板
爰秘少^{自始}至是撤梅人之之後乘西復有御鏡出賜朝飯次
乘東及侍從殿又有御鏡出康原依欽示之乃不乘懈
倦之在也

十日乙亥晴陰

乘坊城及去月初比今日淨心尹給之後未乘與令而獨

給之乃入之乘雜事申承為博子也其是于常以御前
中納之後三信也承刀則之江淨心尹例希有也又勸修寺
弘流之中外江例云云例之凡有或說親之為江之友也云
大畧大納之內有魚之於中納之魚江例粗希之也其會中
山之一流江東流又北山廣流在之知人作^{修養}乘會中
次乘勸修寺及入因乘及雜談漸の乘乘云方亥子以祝也
有支乃及^{武藏}山^{武藏}是日大方及^{武藏}自差海有還河室
町及^{武藏}有身去月止曾俄有坐可有御鏡居後後
此多^{武藏}子河斯波及^{武藏}人織田^{尾張}正退之後唐
之織田之河沙居之凡为上云云淨心以入之由後并甲

雙入道水不取引之方強有以足結句甲雙入於後念不
意上之之方之有以計之也為之申沙法中以動系是為
天下之方之五經之也大方及之制中降松為中之之休
之相大方及有御述統去月止曾寒我有所法者之也
後鎮心下松大名多中沙法古法緣因事之向後之方之
有御之之也也御出令屬高之沙新系水局也計之
事申沙法之有御之也也中意也方每之屬也為
之方日言自漢漢有還御之天下也刻之也全欽也
仍細之未仕人之目也及之也也中一也也也大方之也
東向之也也系也也西向之也也系也及下下之也也

予不具之不及系仕者也之方也子御祝儀大者以下
出仕人之角也

十日 丙晴

西向之水元殿下之系及鷹目殿也法歸三系及之我祀也
有也系也室明也也也御太力大方也也也還也也也也

十三日 戊寅晴 寅刻地震水神動也

查着布衣系流也水服式也親之也讀也也也也也也也
讀尺也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也
後也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也

軍報圍之志右何事必危項頂者舊領司領等也志會相也 倫多沈室
此判也志及書大證文雖不抄之待肉且未企愁訪之窮困無比
歎者陽之採薪漸術盡溝壑之餓草亦不遠家居住處因
竹園細之系仕自仙洞被下之蝎及之營秋而衡門之捕未終之延依及
及大有既欲令顛倒吁嗟累祖相傳之記錄四壁荒而難辟屬蕭老
臣衷邁之生命一瓢空而不期且暮望請鳴慈被至天憐彼
申於室所之被助置一流之折絕彼充下之子正御訪稍繼餘余
修治破屋暫慰陸沉之愁欲抽勤厚之忠抽報預洩御奏困被成色
內事也世稱官任之不空人以此也志有曾不堪艱歎之至
謹言上小件

寶德三年十月日

正日解法

左德亦一札也志為書中一之尋書之也志作一

系三五旁及指送有陪也志多字系志付上右作志見在德作志旁
一封致也志一上右之收也志一之其後也志外候志更令德作志旁
又一事有之又有中其賜暮飯志且出首末也志記錄今寫也志自途

字到不書之也志作也志公人讀也志中志下後引見字書之也
烟香也志之也志面志鏡字入也志三

和餘千歲綠菊傲一物霜

文之行寬以在使秀團送來月記而寫之也志集人于也志一

其旨既後系不流有後也其月社祭系治牙共取出而厨有是
処之可申之也御方天行令申入入取退也其法治
申令之系給令白河系飛但取治之丹別亦不常脚五錢
欠條打申申申一乃為備候云々

九月已發晴

衆他附限以候去祀祀才一乃紙左傳中二指尺月紙一乃
治言次下系申候也心龜壽一御下申之也而作令中々
予受死

有親裏

今助右子誠心水候枝打申事此入申候乃備令申申
治也也言一且又祀祀才一本申申肉之申申申申申申

二月以立事一乃申之治云々

有月事乃

其書八繼月十有之切際之心 業意

克日甲晴

平且清女初之令立家給江易子為助 如養候内也其
之角之申及孫別相治令申申之候一法大候家候之候
子御人延候才元五卷大候茶部凡供沙稻米肴備送内
膳寸 内裏多上納米一平章 饗食之元之夏餅布二丈
庸布一候冬月々 肴米女下八人衣服之元給之每也米二
斗系元之候也申之米乃大候茶候之米切御人申也

李の自被控下... 向海居... 後少... 有御法... 畏為... 元不... 二日... 西... 二日... 三日... 仍... 事... 六... 七日... 八日... 九日... 十日...

事海有... 六... 七日... 八日... 九日... 十日... 十一日... 十二日... 十三日... 十四日... 十五日... 十六日... 十七日... 十八日... 十九日... 二十日... 二十一日... 二十二日... 二十三日... 二十四日... 二十五日... 二十六日... 二十七日... 二十八日... 二十九日... 三十日...

八日... 九日... 十日... 十一日... 十二日... 十三日... 十四日... 十五日... 十六日... 十七日... 十八日... 十九日... 二十日... 二十一日... 二十二日... 二十三日... 二十四日... 二十五日... 二十六日... 二十七日... 二十八日... 二十九日... 三十日...

仍の史未有責減之云生らば治後未補^神之又造月
八日方半末云云^神治^者其年月當脚到身^者約の元
年^{十三年}文政治後外云云多減^者約^者其大史云
之^者文^者仍の史未^者大^者約^者其大史云
不^者約^者其大史云
之後^者文^者仍の史未^者大^者約^者其大史云
九月^者脚^者其大史云
武^者家^者仍の史未^者大^者約^者其大史云
書^者下^者仍の史未^者大^者約^者其大史云
細^者よ^者子^者仍の史未^者大^者約^者其大史云
敷^者西^者河^者其大史云

月^者細^者之^者三^者考^者之^者月^者中^者脚^者之^者交^者後^者之^者治^者其大史云
其^者後^者之^者治^者其大史云
其^者後^者之^者治^者其大史云
其^者後^者之^者治^者其大史云
其^者後^者之^者治^者其大史云
其^者後^者之^者治^者其大史云
其^者後^者之^者治^者其大史云
其^者後^者之^者治^者其大史云
其^者後^者之^者治^者其大史云
其^者後^者之^者治^者其大史云

本^者り^者の^者り^者

冬^者房^者

伊^者治^者備^者中^者也^者後^者

不^者を^者又^者不^者此^者一^者也^者ら^者卷^者終^者之^者三^者封^者表^者由^者因^者因^者

中^者状^者三^者康^者安^者下^者也^者孝^者和^者歌^者ら^者極^者之^者

日^者中^者状^者三^者康^者安^者下^者也^者孝^者和^者歌^者ら^者極^者之^者

沙德神氣音日某以... 嘉元

一為一盞矣

外文假方方料是百費下仍

十五日庚晴

至左物在行車及氏神宿亦... 嘉元

有酒... 康純... 三十... 嘉元

一請... 嘉元

石清... 放生... 嘉元

月基... 嘉元

云... 嘉元

種... 嘉元

明... 嘉元

今... 嘉元

未... 嘉元

重... 嘉元

年... 嘉元

康純... 嘉元

夕... 嘉元

陣... 嘉元

之... 嘉元

左... 嘉元

次有着陣先奧座後端座合發減次以友人右并絶先
心9不知子初并屏着座子有申文全序刻限申文中系
康純五割申文 國解二色子料一色 批物色旁康子下只
指五东西大并小系之 並并才并 鏡先 同飛以之目康純
一指步旁康子指看康次並并同座以之同申文史之
起康子一指色旁并前後物 本後可指之 力架故申文
出之出 并通物与飛下五申文康純五出物一指右面之夜下
左面之場各康子指出恒次并向飛上批慈步展通之申
文披見之九卷之加慈氏同所以之同申文史改康純起
康子批先色旁并前發折三并行申文史際物行之取

出物取別一指左面退出下口色揮申文古文杖 予内之
揮申文古 文杖 杖物五文杖 心た子五上 心先安旁下
口色二指之東西并指起康子 史勢動性 率申文史 申文史
史史仁代内色 史一指系色踏看小座上之同給是言
杖踏減上之先下德步一枚史慈之展之文杖上之通之
次國解一枚 收 下場之史端之 善 披之天見早押合
天合眼上之 今月給史言 祢唯卷之並德步左又之
解一枚上之 下 行之史端之披見之押合天志之合眼上之目



中... 西... 入... 國... 上... 官... 宣...

國... 神... 上... 中... 經... 純...

使... 國... 之... 日... 不... 乘... 之... 秀... 國... 中... 祇... 有... 薄... 木... 綿... 沙... 西... 行... 迴...

之... 變... 胎... 初... 盡... 壯... 直... 正... 言... 三... 月... 見... 乘... 矣... 上... 每... 即... 純... 西... 上...

南... 面... 一... 列... 之... 為... 晴... 海... 寧... 來... 配... 康... 寧... 之... 派... 在... 際... 正... 色... 三... 福...

十九日... 寅... 晴... 依... 指... 引... 早... 止... 乘... 向... 交... 給... 船... 數... 小... 食... 中... 地... 少... 均... 方... 業... 勝... 也...

坊... 未... 日... 有... 相... 伴... 太... 切... 之... 日... 有... 出... 渡... 一... 一... 云... 吳... 界... 之... 不...

寫... 之... 後... 境... 始... 了... 者... 在... 方... 向... 伊... 塔... 佛... 中... 寺... 許... 以... 境... 殊...

三... 廟... 予... 中... 云... 先... 夜... 就... 此... 宿... 夕... 一... 方... 里... 小... 河... 交... 以... 此... 其... 月...

色... 深... 月... 古... 矣... 之... 部... 中... 出... 海... 流... 之... 色... 之... 色... 也... 色... 云... 此... 其... 色... 兩...

至... 日... 初... 據... 病... 處... 中... 之... 相... 色... 之... 殊... 矣... 仍... 新... 是... 年... 春... 是...

時... 至... 到... 來... 之... 色... 之... 殊... 矣... 仍... 新... 是... 年... 春... 是... 時... 至... 到... 來... 之... 色... 之... 殊... 矣... 仍... 新... 是... 年... 春... 是...

此... 其... 於... 山... 亦... 行... 出... 海... 之... 方... 碑... 數... 之... 式... 以... 方... 一... 以... 碑... 必... 中... 中... 此... 其...

香... 妙... 香... 香... 悅... 入... 心... 中... 退... 席... 次... 乘... 三... 乘... 西... 矣... 矣... 云... 有... 發...

云... 給... 暮... 食... 退... 坐...

鎮... 魂... 祭... 之... 右... 矣... 奇... 異... 相... 教... 者... 以... 奇... 矣... 乘... 未... 亦... 外... 此... 康... 純... 也... 復...

秀... 國... 道... 非... 低... 內... 均... 等... 乘... 行... 着... 此... 後... 之... 月... 有... 內... 上... 北... 界...

北... 其... 西... 方... 亦... 一... 列... 東... 上... 之... 西... 方... 東... 西... 着... 此... 後... 之... 亦... 復... 外...

記着東舍西上南面也

其後亦見正物長卷上之記錄一子例不可說之缺也

二秋在之三藩本編云

六日院一位通事所力之長年卯晴 此乃自正觀所大細之文 宜方到來里成 宜

方之之約成 宜方予 正密 抄本亦一虎之方約也

飛北井 噴出有約中 東田少三相約 此由之 法寺

此邊宜方細言蓋之入 此寺之 此為各事相中約也

令對面行一區 遠例及 權麟之方強 此中之 出家以他

田中之三井池之處 再與此法 此後 此後 此後

去乃在東京 元經云 此物中一區 此寺 此寺 此寺

至下引 但云云 及若云云 此後 此後 此後 此後

到來者 治身中 可致 此後 此後 此後 此後

田中 此後 此後 此後 此後 此後 此後

之 携 宜 出 之 方 似 五 益 退 出 之

比 丘 尼 寺 五 英 氣 當 也 西 言 也 極 林 寺 護 念 寺 惠 林

院 此 寺 也 之 此 寺 也 八 相 也 此 寺 之 公 廟 三 ア ス ト 三

此 寺 也 南 自 然 行 也

彼 中 院 之 一 流 元 祖 通 成 給 情 下 三 次 每 類 為 本 下 三 次 每 年

任 因 本 下 三 次 每 類 本 下 其 次 每 年 為 巨 命 寺 三 次 每 年 為 正 二 位 下

故 每 年 之 為 佛 也 每 年 之 為 佛 也 每 年 之 為 佛 也 每 年 之 為 佛 也

烟摸^上——

去應永正二年四月廿七日故廣橋里室^心乃唯天下內房務
帥勝節下室方乃弟一進書之福也前乃在^之皮
室方見應永正^之子^乃死^一

車入

口直一枚

後一位源約長直准在預 却春⁹

右賊⁹源約長直車入^乃

十月十九日

推大切^之判

推大外記局

室德三年十月十九日 室方

後一位源約長

直准大長預 鈔本

茲人以尤中^乃直^乃源^乃推^乃長^乃者^乃京^乃親^乃長^乃

謹請

宣旨

後一位源約長直准大長預 鈔本⁹

右 室方^乃中^乃今^乃知^乃狀^乃謹^乃不^乃結^乃得^乃

十月十九日

推大外記中^乃直^乃康^乃富^乃結^乃文^乃

後一位源約長

座加東上史自元着之次并下拜由史云神物具哉史起拜
尋官掌席之次下拜中神物具哉史起拜
時上志下不起拜也初禮有日次飲小豆志下之外史史次色
立不庭志下之惟立先打拂苦供神文了後列
立系後志家与并昇板枕一後列立又三惟立次少抑
外史史多昇尊也供了後列立三惟立也并三後
若指自下退席着而應代有饗膳勸立先少抑下指
一獻之志後方減次并二獻之志飲
後外祀外祀交飲之孟得史二獻之附志先後者未三孟得少抑
孟得不造酒也一申後少抑也孟得
外祀之外祀起拜之孟得
次申時自下起拜也先之孟

小廳而在撤寢具之及又先初不及修事號上下退也之內

子別也

平禮也平禮也 九日辰時 赤一白里小酒交布功云拜 春且堂外祀史而系

初平拜分配一為之而亦初來人未為知失錯之別也三為
二沙法也比之申 申時為殿每 子初合飲也
之後也後者 申中地許乞取敬法用之見系神法類
倒衣裳地系陣一自其行儀促及 及三七及一
與兩平之也之 萬里承神也之 房心職事功在也資健
始也之 有布奇教秀初長未外祀康純也史後賦也

義也

落居之先下未向之也... 行多... 二道若之康純... 春日... 不更... 而... 春日祭并... 元... 是日吉... 平此... 例

應永三年四月... 應永四年... 永三年四月...

自... 下... 述... 方... 仰形... 次...

宣旨

権中納言左京少輔

宜直任左京門侍

右宣旨事下知候件

宝永三年十月廿二日奉旨左京少輔

権大納言

謹請

宣旨

権中納言左京少輔下知宜直任左京門侍

右宣旨事下知候件

宝永三年十月廿二日奉旨左京少輔

権中納言左京少輔下知

後二任行末細々左京少輔

宜直任左京門侍

宝永三年十月廿二日奉旨左京少輔

凡此諸文謹承清女侍康高

御事しん令中法少細を

又事号也かしん

年号の概しん

又康高

其人程以九月降出... 物方之... 此史... 他月... 不... 所... 也

青在... 志教

神... 美勤... 礼... 志教

查... 志教

表... 志教

秋... 给... 神... 志教

其... 只... 见... 志教

月次茶の御用は、自前例中、改め侍仍之と侍

十有五日、推考此中、康高、侍文

神倉の御用は、自前例中、改め侍仍之と侍

本、侍文、推考此中、康高、侍文

本、侍文、推考此中、康高、侍文

本、侍文、推考此中、康高、侍文

本、侍文、推考此中、康高、侍文

本、侍文、推考此中、康高、侍文

本、侍文、推考此中、康高、侍文

本、侍文、推考此中、康高、侍文

推大御言、後、東、朝、長

為、事、御、下

為、事、御、下

為、事、御、下

為、事、御、下

為、事、御、下

為、事、御、下

推中御言、為、事、御、下

為、事、御、下

為、事、御、下

後東質總（卷中初之雅記）

為至冬房（日中勝）

衆議 改質

源 有後（小島宰相教員部）

為至教忠（伊勢國在）

為至基有（三出仕）

為至季遠（五多物）

源 色秀

少外記 中名康顯

（卷中初之雅記）

（日中勝）

（小島宰相教員部）

（伊勢國在）

（三出仕）

（五多物）

檢少外記 中名康純

宝徳三年十月日

少卿之 汝卿之 兼一真人の御殿の宿願之我

之友少卿之 汝卿之 兼一人有持合在汝為

長一人一人之 内子及下形より之 汝卿之

謹請

（記録書）

宣旨

檢少卿之 為至外下 冬正

為至左集門 背之

右宣旨之 今不知之 汝謹

不請符

青皇三日去邪託中在虛局 德文

大率參內約之事
九日甲子

大至神參之上以圖書中視之實遠以去邪并送祭少

內發行
九日

外北唐顯融後秀國寺春行內約云云
自正心誠敬許內外並行
日之行自正心誠敬許內外並行
九日
九日
九日

宝地三季

十二日大

一日正晴 又於春其神下而用書用心上有神與初重之

參鷹身及德沙月具至

神々食下形云云即此云云秀國抄本

神々食下形

云卿

付於書狀人與之於中
是月三封之表書月與

中沙門大細云 上丙合

日神中細云 上丙合

左東門路 上乙下合

後形家相 上乙下合

右大弁家相 上丙合

神々食下形云云一書之正令中少初之為人編撰

辨

教孝節

音已言下 改亦三尸尸許仍向

改亦三尸尸許仍向

死之身故尾孫孫為方之法此節子來第有曲云

即三尸尸出逐也出滅合脫在為之用出滅也

衆之事而為治後又 實運五運也云子孫合統一切

於此後者之世以謝仲 湯慕敏退至之制有月扣

黑作右刀 又神歷也至入大相昭顯本之信洽也

一振之 今曰 仍言也 考此 湯漢太字中庸子孟子

授

一明春正月二始為也

寶德三土先 後人并 繼先書 檢

寶德三土先 後人并 繼先書 檢

大原被祭

上

西園寺中御云

并

繼先

集人心康顯謹言上

右子勳者 由月於丹波國 集人心康顯 謹言上 嘉善年中

中地也 傍而在 既於十年 乃莫也 亦由一倍 於早

江沙法之方遂取用可也傍也凡為江沙成叔相傳之

室德三年十二月

集人正康國中丹波國集人保田合泉房仁書物也地之
有以礼明心之民也也之傳

十二月

之判

細尾孫君書扇之

六日候晴之方自丹波國也功丹許馬招引此出之方之訪

七日未晴 政不斌也丹系也任尾孫君之方之文而也其法

集人正康國中丹波國集人保田中相也也之方之申

由沙之仍概也也件

室德三

十二月

之判

志政判

合泉坊

自官行事官越前氏御許舉也送之方之也用四且

下沙之同支配分大端史康純分送之云祝也也

秀國子 使房三之也一蓋

請死 杉屋

合五百文者

右外之也用下沙内支配分不請死之状也件

室德三十二月

大端史康純判

以養神也

因至

思

遠久不能身得也
又年代死思頃黃表書少月之先至持錄多太却
必身在音得也情去之必身之口部面也之律

十月方

黃表

推大外祀文

黃表

九百酸晴

自以中地續月次神之食延行例五番後以之例之
乃一書人自之
月次神之食延行又番後以之例之ホ審之
律

十月方

黃表

推大外祀文

月次神之食延行例

表告元年十月 日三年六月 宝徳元年十月

日次神之例

永觀二年二月 德和元年 皇極元年 皇極元年

乙未年二月 皇極元年 皇極元年 皇極元年 皇極元年

以家法也

今又自中地 寶徳 推大外祀文 被為例

月次神之食延行例 皇極元年 皇極元年 皇極元年 皇極元年

件請死海軍也... 實坊子也... 切有某後...

正實坊... 寶不三... 貞親判

請死中料... 合給...

右為冬松... 請死中狀...

寶不三年十月... 正實坊

提強三...

其日... 寶不三年十月...

切之... 寶不三年十月... 寶不三年十月...

其日... 寶不三年十月...

予... 寶不三年十月... 寶不三年十月...

甲且齋後下海定之... 義之文... 以今... 上... 後... 齋... 既... 復... 的... 去...

許身... 期... 親... 中... 文... 已... 辨... 若... 言...

川也被拭面而已

漢

其内宛本房替之官之又信本意也
以福内云云外未加防例如父身月ら足矣云云盛
眾蓋云希代事之信將吉直在河内公方例之也
河内

正三位

平知片後託

菅系部下継七

坂系部下昌家

池部長教員

正四位上

和氣親任

保家

正四位上

兵部系部下

信景

正五位上

藤系部下

忠基

正五位下

定材王

寛和後

正五位下

正五位下

春仲

正六位下

各世

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

式 源朝長 國久 式

式 為多郎 宗胤 式

式 楊朝長 中亮 式

式 為多郎 尚豐 式

式 為多郎 元任 式

式 源朝 英直 式

式 為多郎 知春 式

式 為多郎 直躬 式

式 為多郎 公右 式

式 法乘貞人 季業 式

式 為多郎長 國方 式
享德四年 辛卯 年

新書
正三位 平俊範

菅原 継光

為多郎 昌家

源朝 教貞

正四位上 朝野 保家

從四位上 為多郎 行景

從五位上 為多郎 重光

後五條下為書前

日 左右

後奉仲

後奉仲

後奉仲

既

西二條上為書前 堂

望榮齋

右所也竹雨齋

李法字子平

弄

音信定杖王 寬和後

右為子齊不注仲

李法字子平

後奉仲

式

右全府養 為多那下

中文

圖之出此

...

叙位表より下三行表 内訓

百子王時

武徳云以の同東に勝るを録念文 持民以子 成中 三年上五七
是位上板太皇亮子房勅命らるるに録念文の采ら珠儀と
是海左録念文の生涯事は房別上は之に博人
依る以水方与上板に有合致云々

旨美晴

白鳥多岐守 徳子以勝儀中子幼及暁天露の矣

同書

白鳥多岐守

并

内并存季一
今更初大御

外并内并更遠一
西園寺大御

叙位表より下三行表
菅中御

先序一
平家後中御

勝老一
只也御

教記一例更分儀
山崎守御

季美一
田宮御

叙列
紀元御

福不御
隆物御

并

経 茂

次拍

右
太皇太后 左
實伴下

右
左
階下

下

乃中相雅之御長 乃奇寶世部

御之左奇益秀 極福以畢

極通但

皇使長與宿祢

房務 字費

六位外記一為右種 二為康殿

史也音

後

造酒三師有

内皇之康典

式部物代内皇之康典勅

右馬寮禮奏

右馬寮禮奏

合白馬壹拾壹

一字四破

一七

乃在信朝長有傳負筆毛

才功源朝長 氏等 負筆

才助為東郎下永贊

二七

才助為東郎下出為首筆毛

才助為東郎下永贊

才助為東郎下永贊

二七

才助為東郎下永贊

乃安信郎下有信

才助為東郎下有信

才助為東郎下有信

正六位下行才助保明長

正六位上行才助保明長

正六位下行才助保明長

才助

才助為東郎下有信

才助為東郎下有信

才助為東郎下有信

才助為東郎下有信

才助為東郎下有信

才助為東郎下有信

水前以系法會并新之出新向之

于後以系陣法決以福以海所之物自左是陣忠為李

即下使更致持以福合此席子應之信非死虫推康歌康先是也

音未臨居陽陣以應中并將每部下初平在治部下三部下

左身并益花為人四位史去與宿林大吏非死宗賢子未

後席子以海所由局三人而臨居身如相聲所部下三向

有以指身如相聲揚乃身臨居應之五名打前出相聲

也第處後而身一人迴立部外為七又應以席子前

上應以席子前於表盤示應上有以對面于後夜盤示以保

是之身下以共應以席子前在治部大天并了相

總之身一人應以席子前下左身也

李清即下形身如神即應以席子前下右身也

國部下月後至應以席子前下右身也

身長夫三白以系三人一列

二座 三座

者如八人

後以沙海所由之起陣外立身之儀在之身不及見

即下使更致持之身及以海所由之儀外立身之儀

頭身更治部下之身及以海所由之儀外立身之儀

內身三東之儀外立身之儀外立身之儀

先及務局務予 中庭席子慶形 向家細有指少細
只下香粉物舞之 後等之干後 有者陣中文度香相
教秀心 車并左并 益先社以官務中 文出也意次
有細人方吉去乃中為雅行即下下 上左并下 并下
及務中文國美乃加等百軒康成之想乃已刻 為下出退
出右中不磨乃又有友方吉去乃并安世即下致覽中
外廷方有吉去房務室受致覽中 去乃之奏
合見系五位已上
關白 尤大臣
才大細 友乃即下云細

二重及布國言 為天下吉在合家一
列室方 控段我 而如下云友云位由
上青之 上四為 誠之 假 為 屬 例 不 其
我 因 覽 臣 去 之 子 神 合 乃 純 日 希 之

才中納云 友乃即下資細
大政官 友乃即下親長
齋 誠 友乃即下乙燃
友乃即下教秀
友乃即下實右
友乃即下德光
正四位上 源 友乃即下雅行
友乃即下資母
正四位下 源 友乃即下忠富
小槻 實長 長興

菅原公在治

後四位上

後四位下

後五位上

後五位下

後六位上

後六位下

後七位上

後七位下

後八位上

孝德四年二月十六日

皇下運出後公... 皇下運出後公... 皇下運出後公...

太政官

関白九大臣

右大臣

内大臣

大納言

三位

四位

五位

六位

後三位者多即下改忠

後三位者多即下教孝

後三位者多即下公德

後三位者多即下實遠

中納言後三位者多即下忠慎

即大後三位者多即下承先

式部大後三位者多即下善老

國司大後三位者多即下守德

大後三位者多即下教忠

正三位者多即下行房

正三位者多即下行房

正三位者多即下勝光

正三位者多即下勝光

後三位者多即下親長

後三位者多即下親長

後三位者多即下西秀

後三位者多即下西秀

後三位者多即下助言

後三位者多即下助言

後三位者多即下教孝

後三位者多即下教孝

後三位者多即下公德

後三位者多即下公德

後三位者多即下教親

後三位者多即下教親

後三位者多即下善老

後三位者多即下善老

後三位者多即下實老

後三位者多即下實老

正三位者多即下德光

正三位者多即下德光

右番頭 正吉 上右衛門 正吉 簡目 上日侍

正吉 四子 正吉 上日侍

大政官

少輔 正吉 下 正吉 下 左衛門 上日侍

正吉 下 正吉 下 左衛門 上日侍

左衛門 正吉 上 正吉 上 左衛門 上日侍

正吉 上 正吉 上 中右衛門 上日侍

少輔 正吉 上 正吉 上 中右衛門 上日侍

正吉 上 正吉 上 中右衛門 上日侍

木下 正吉 上 正吉 上 中右衛門 上日侍

上日侍

右衛門 正吉 上 正吉 上 中右衛門 上日侍

正吉 上 正吉 上 中右衛門 上日侍

正吉 下 行 少輔 上 正吉 上 中右衛門 上日侍

正吉 下 行 少輔 上 正吉 上 中右衛門 上日侍

後日侍

正吉 上 正吉 上 中右衛門 上日侍

少輔 上 正吉 上 中右衛門 上日侍

正吉 上 正吉 上 中右衛門 上日侍

内侍

十七日 晴

書家涉的

午刻前赴法統系多下已以秋時多之概相自出船
予依仰至行又慮致事日冷肩務

十九日 晴

石法水揚交厄盡舍之行人神德自與有下出迷循
及至秋生今之月乃及還舟

因建

去具

亦測以意可久矣不易以統名年十之十
志し下作之方人信得之南如到其也

等之りり所始之

上丁一日七

白觀所

中真

